

附属大塚 学校だより

本校は、世界最高水準の知的障害教育を目指します。

附属大塚卒業式「巣立ちのとき」 ～教室の窓から⑥～

臨時休校の続く本校では、16日(月)に卒業生と保護者、教職員でささやかな卒業式を行いました。式典は、幼稚部から順番に証書授与を行いました。在校生がいない静かな体育館の会場でしたが、子ども達は、しっかり証書をいただき、クラスの仲間、そして担任の先生と一緒に力いっぱい学部の歌を響かせていました。今回の件では、卒業に向けたクラスの取り組みが突然中断されてしまい、楽しみにしていた卒業遠足やお別れ会も実施できないまま卒業を迎えることになってしまいました。でも、その寂しかった思いは、きっとクラスの仲間の絆を深めていくことでしょう。この「巣立ちのとき」は、仲間の絆が強く結ばれて、これからも繋がっていくきっかけを与えてくれたのかもしれない。

附属大塚の全ての子ども達は、互いに支え合う経験をたくさん積み重ねてきました。それぞれの子ども達が迎える新しい環境では、うまくいくこともあれば、うまくいかないこともあると思います。そんな時、仲間を信じて応援した時の気持ち、自分を信じてチャレンジしようとした時の気持ちを思い出してください。きっと一歩踏み出す勇気がわいてくると思います。卒業おめでとう！



研究協議会の報告 ～実践研究の深化、そして発信⑤～

2月14(金)本校の実践研究を発表する「第55回知的障害教育研究協議会」が開催されました。3年次計画の最終年にあたる今年度は「これからの個別の教育支援計画・個別の指導計画を考える～子どもの「夢」「願い」をつなげる個別教育計画と授業研究～」というテーマに取り組みました。当日は、全国各地から200名を超える参加があり、各分科会では有意義な協議が行われたようでした。本校は、次年度60周年を迎えます。先人の築いてきた成果を振り返りつつ、温故知新の精神で、エビデンスに基づく新たな知的障害児教育の深化を目指していきます。



協議会全体会 会場の様子

共生社会の実現と主権者教育 ～附属大塚が描くこれからの学校⑤～

高等部では、主権者教育に取り組んでいます。選挙に参加するためには、その仕組みを知り、実際に経験することが大切です。文京区選挙管理委員会や学生ボランティアの協力を得ながらのこの取り組みは、今年で7年目になります。国政選挙と同じ設備を使った2月の生徒会選挙では、投票用紙を交付するための機械や、投票箱、記載台などを用意し、受付から投票まで実際の選挙と同じ手続きによる投票を行いました。開票に関わる機器も一式そろえ、区の職員が解説をしながら作業を実演し、投票用紙が各候補者の得票数として計算されるまでの手順を示してくれました。こうした仕組みの理解は、選挙の投票行動と得票数の関係を具体的にイメージするためにとっても重要です。実際の選挙では、親やヘルパーは付き添うことができず、合理的配慮要員に投票したい立候補者を伝え、代筆を依頼する必要があります。今回は、そうした学習も行いました。参加した小学部中学部の生徒達も真剣な表情で演説を聞き、自分で考えて学校の代表を選びました。

過去、18歳になった高等部3年生や、卒業生は実際に投票を行っています。附属大塚の卒業生が実際の選挙に参加することによって、自治体ごとに差がある合理的配慮が進み、インクルーシブな社会の形成につながると考えます。みんなでこれからの社会を変えていきませんか？（日本教育新聞社に掲載された本校主権者教育の記事は玄関に掲示してあります。どうぞご覧ください。）



投票する小学部高学年の児童



投票用紙の計算を実演する様子

橋本オリ・パラ担当大臣が視察しました ～共生社会の実現に向けて⑨～

2月19日（木）、橋本聖子オリンピック・パラリンピック担当大臣が本校に来校し、小学部と附属小学校との交流会を視察されました。体育館で行われた交流会ではサイバニクス研究センターと本校の共同研究事業である「ミライの体育館®」システムを使い、附属駒場高校生が床面プロジェクションマッピングを活用して制作したコンテンツを利用したゲームに取り組みました。橋本大臣は子ども達が協力しながらゲームに取り組む姿を熱心に見学され、子ども達に優しく声を掛ける姿が印象的でした。

活動終了後には、橋本大臣より、児童に向けて「みなさんの交流を見せていただいて、心をやかに、そしてもっといきいきとした共生社会を築いていかなければならないと思いました。」とご挨拶をいただき、オリンピックやパラリンピックを応援してほしいと述べられました。最後は、子ども達の輪に橋本大臣も加わり、記念写真を撮りました。玄関で見送る際には、一人一人に気さくに話しかけ、握手をしていただきました。最後まで温かく児童と触れ合ってくださいました。



橋本大臣を囲んで記念写真

地域の人たちとの出会いと交流～高等部修学旅行～

平成28年の熊本地震以降、高等部の修学旅行は熊本大学教育学部附属特別支援学校での防災学習、そして高等部との交流会を続けています。今年度も互いに学校紹介や互いに準備した歌やダンスなどを披露し、交流を深めました。高等部の修学旅行は、地域の人たちとの出会いと交流を目的としています。今年も地元で料理教室の先生に長崎の郷土料理「ちゃんぽん」と「芋よせ」の作り方を教わったり、長崎大学教育学部の学生に市内の観光スポットを案内してもらったりしました。

地域の方々との出会いは、生徒たちにとって大切な思い出となり、短い時間でありながらも関わりを深める経験は貴重です。自分にことについて話をする事、また相手のことについて聞く経験を通して、自分を表現する力や相手を尊重する気持ちが育ってほしいと願っています。



完食のどんぶりを持って記念写真！



4月の予定

※感染症を巡る状況により、予定が変更する場合は、学部メール等でご連絡いたします。

8日(月) 令和2度始業式10:15/10:30下校

※始業式への保護者の参加はご遠慮ください。

9日(火) 短縮日課11:15下校(小中高)

幼稚部休業

入学式10:20～(幼)

13:45～(小中高)

※新入生及び新入生保護者、教職員で行います。

10日(金) 給食開始

13日(月) 内科検診(高)

14日(火) 発育測定(幼小)

内科検診(小2～中)

15日(水) スマイル(高)

胸部X線(高1)

16日(木) スマイル(中)

17日(金) 学校運営説明会 保護者会

※離任式は行いません。

20日(月) 運動会特別日課開始

眼科検診(全校)

21日(火) 家庭訪問週間～28日(火) 13:00下校

幼、小1.3.5、中1、高1

個人面談週間～28日(火)

小2.4.6、中2.3、高2.3

歯科検診(全校)

22日(水) にこにこ広場①(幼)

尿検査(全校) 13:00下校

23日(木) 尿検査予備日 13:00下校

24日(金) 13:00下校

歓迎親子遠足(幼)

春の遠足(小)

新入生歓迎会(中高)

27日(月) 新入生歓迎会(小) 13:00下校

28日(火) 視力検査(高) 13:00下校

29日(水) 祝・昭和の日

30日(木) 視力検査(中)



編集後記 これまで、本校の様々な実践や取り組みをご紹介してきました学校だよりもこれが最終号となりました。保護者の皆様には、本校教育へのご理解とあたたかいご支援をいただき感謝申し上げます。PTAや桐親会、本校を卒業した方々やその保護者様、そして地域の関係する様々な方々に支えられている附属大塚。全ての人達と共に子どもの将来について考え、互いに尊重し合う「共生社会」を目指していきます。一年間、本当にありがとうございました。(主幹教諭 中村晋)